IXameda 3 2020 3



真のグローバル社会を迎えて

亀田クリニック院長 亀田省吾

日本は、出生数の減少と長寿化に伴い、少子高 齢社会が急速に進展しています。2019年7月1 日現在の日本人の人口は1億2,388万1千人で前 年同月に比べ46万8千人(0.38%)減少していま す。人口減少も問題ですが、更なる問題はその 中身です。15歳未満人口は1,528万5千人で前年 同月から20万人(1.29%)減少,15~64歳人口は 7,517万9千人で39万3千人(0.52%)減少して いるのに対し、65歳以上の人口は3,580万1千人 で前年同月に比べ32万9千人(0.93%)増加して います。外国人を入れた総人口は1億2,626万 5千人で前年同月比は28万人(0.22%)の減少で あり,外国人の増加により,多少人口減少が緩和 されていることがわかります。戦後の第一次ベ ビーブームの年間出生数が約270万人であった ものが、2016年に100万人を割り、そのわずか3 年後の2019年には86万4千人と急激な減少が続 いています。一方、高齢者人口は2050年頃まで 増加し続けると予想されています。

人口減少は、経済の衰退に繋がり、貧困化が進んでいく可能性があります。また、少子高齢化の進展により、若者が高齢者を支えるという日本の社会保障制度の原則が破綻しかねません。特に今後30年ほど続くことが予想されている後期高齢者人口の増加に対する医療、介護サービスは、財政的にも、人的資源からも、現状を維持していくことが非常に難しくなっていくことでしょう。

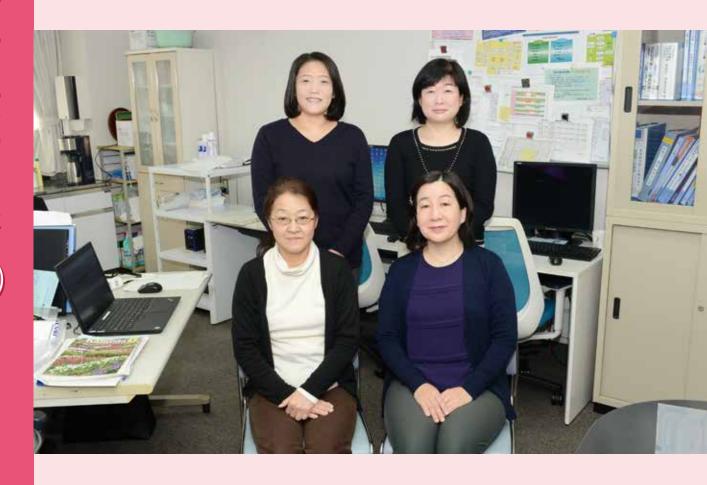
一方,発展途上国と言われてきた東アジア諸国やアフリカ諸国の変化はすさまじく,人口も急激に増加しています。そして,日本にあこがれている若者たちの中には,基礎能力が高く,優

秀な若者たちが大勢います。日本は島国であり、 鎖国の歴史など、閉鎖的な文化を歩んで来ました。しかし、今私たちが取り組まなければならないことは、海外から優秀な若者たちに日本社会の担い手として来日していただくことです。

ヨーロッパをはじめ、世界の先進国で移民問題は「もろ刃の剣」として様々な議論が行われています。しかし、世界一の大国であるアメリカは、トランプ大統領がナショナリズムを唱えていますが、典型的な移民の国です。日本も、歴史を遡ると朝鮮半島や中国、台湾、琉球、極東等から人や文化が混じり合い、現在のような国になったことがわかります。20世紀以降、目覚ましい進歩を遂げた交通システムや情報化により、世界は狭くなり、グローバル化が急激に進んでいます。水が高い所から低い所へ流れるように、もはやこの流れに逆らうことはできません。日本は危機的な少子高齢化、人口減少をきっかけに、今こそ世界の手本になるようなグローバル化を進めて行くべきです。

亀田グループの学校法人鉄蕉館 亀田医療技術 専門学校は、4月に外国人を主体とした介護福祉 学科を開設します。また、亀田メディカルセン ターや社会福祉法人太陽会の様々な施設でも、 外国人職員の雇用を進めて行く方針です。言葉 や文化の違いなど、乗り越えていかなければな らない壁は多々あると思いますが、日本が世界 に誇るおもてなしの心を大切に、日本文化と異 文化を上手に取り合わせ、世界に誇れる新たな 社会が作られることを願っています。

(15ページに関連記事)



「継続は力なり」「努力にまさる天才はなし」。コツコツ努力を続けることの大切さを諭す言葉として、子どもの頃から聞かされ続け耳にタコができています。

この「継続」に「学習」というフレーズが続くと、つまりは学習しつづけなさいとなるのでしょう。そのため勉強嫌いに拍車がかかり、今に至っている人は多いはずです。しかし一方で、社会に出てから必要に迫られ、あるいは自ら興味を持って学んだことはなぜこれほど身につくのか不思議に思ったことはありませんでしたか。

そこで今回は、職員横断的な継続学習の 専任部署である「継続学習センター」を取 材しました。



センターの歴史

継続学習センターは,1992年に 医療の質を高める目的で,全職員対象に職員のニーズに合った効果的な研修を提供し横断的な職員教育を行い,また職員が医療人としての専門知識や技術習得を受けられるよう可能な限り援助を行うため専任部署として発足しました。

米国では専門職ごとの高度な教育 訓練と並行し、病院で働く全職員向 けの横断的な教育が当たり前のよう に行われていると、当時さまざまな 形で交流していた米海軍横須賀病院 のスタッフから聞いたことがきっかけ だったとか。

当時の当院は、1989年からはじまった壮大なマスタープラン計画の途上にあり、なかでも伸るか反るかと言われた独立型外来施設「亀田クリニック」の開業を3年後に控え、要員計画の一環であったということは想像に難くありません。

初代のセンター長は、まさに看護教育の第一線で継続学習を自ら体現して来られた故藤司京子さん。今でも白衣の上に羽織った濃紺のマント姿が目に浮かびます。当初から職員教育担当者会を毎月開催し、診療部・看護部・医療技術系・事務系から代表者に参加してもらい、教育計画の立案・実施・評価等を行って来ました。二代目は日本と米国双方で学び、理学療法士国家免許の2番を持ち、これまたリハビリテーション業界で知

らぬ人とておらぬ渡辺京子さん。そして現在は歯科医師の教育プログラムの構築などに尽力して来られた三代目池谷恭子さん。奇しくもキョウコさんつながりでバトンがリレーされ、今に至ります。

スタッフとオフィス

継続学習センターは、医療法人鉄 蕉会の組織図上では、医療管理本部 の研究研修部に属し、池谷恭子セン ター長を中心とした常勤スタッフ4名 と、それ以外にフォトセンター1名、 図書館司書1名の計6名で構成され ています。オフィスは、さまざまなセ ミナーを開催しやすいよう教室を備 えた旧看護学校校舎だったビルの1

階に構えています。 ここを拠点に、開催 規模やニーズに合 わせ、院内外の研 修を企画・開催し ています。





主な業務

職員対象

職員の横断的な研修受講については、職員研修手帳を配布し、職員証による受講履歴のデータベース化を図っています。主なものには次のような研修が含まれます。

● 新人オリエンテーション

毎年300~400名前後の新入職員を迎えますが、ここ数年は3月末に入職式を行い、そのまま集中的に全体オリエンテーションを実施しています。感染管理・医療安全・倫理・接遇・BLS(基礎的救命法)を中心に、亀田の歴史や経営トップの考えなどを盛り込んでいる。中途採用者向けのオリエンテーションも年2回実施しています。

● 必須受講研修

基幹災害医療センター・保険医療機関・臨床研修認定施設として必要な研修や訓練,算定加算研修(感染管理,医療安全,診療報酬,防災ほか)が含まれます。

池谷センター長は「昨年は当地も大変な台風被害に見舞われましたが、災害時にも各部門がスムーズに行動できるよう、防火・防災訓練ひとつをとっても部署間の調整など訓練の実施内容や協力依頼もメールだけで済ませず、なるべくFace to Faceを心がけ、現場の意見に



耳を傾けるようにしています」とのこと。

データはアクセスで管理。診療報酬研修は、当初は全職種対象で開催していましたが、現在は医師、医事課、コメディカルなど、専門部門ごとに開催しています。こうすることで、自分たちの業務に直結する改定の目的や知らないと困る注意点などを学んでもらえるようになり、効果が上がっています。

基礎的救命法(BLS), 高度心肺蘇 生法(ACLS)等の専門領域研修

担当の笹生知代課長は,看護師長まで経験した看護師経歴をもち,

医療系にも事務 系にも詳しいた め、BLSやACLS の研修コーディ ネーターとして活 躍しています。



BLSは1990年に米海軍横須賀病院との交流の中から生まれ、プログラムが導入されました。初年度受講者は66名が一日コース(成人・小児・乳児)で行っていましたが、2007年から現在も行っている成

人対象のみのコースを開設。2017年~2018年は800~900名の有資格者が受講するようになっています。近年事務系職員は緊急時の初期対応の講習会を導入し、年間350名が受講するようになりました。

2019年度

- ・成人コース (約4時間)×30回/年
- フルコース (成人・小児・乳児:約6時間)×1回/年
- •**事務系BLS** (約45分間)×21回/年

ACLSは1997年に初期研修医のために開始されましたが、対象者が看護師等に広がってきたこともあり、2008年から継続学習センターで実務を担当することになって今日に至っています。緊急時のチーム医療、高度な技術を重視した内容です。

BLSもACLSもAHA(American Heart Association, 米国心臓協会)のガイドラインに準じており, インストラクター(指導者)は質を担保するため、AHA-BLSのインスト

ラクターかAHAのBLSやACLSを 2年ごとに受講更新することとして います。

院内の医療従事者が2年ごとにBLSコースを受講し、更新する率は毎年85%以上を維持するようになってきたので、「道筋は出来たと思う」と笹生課長。

今後は、AHAでも推奨している 教育戦略を基に、個人の評価を可 視化し、客観的に評価出来るデバイ スを取り入れて、誰でもチームCPR (心肺蘇生法)の質を保ち蘇生率を 上げていけるようにと新しい取り 組みを計画中とのこと。CPRトレー ニング中に求められる胸骨圧迫頻 度と深度を誰にでも簡単に数値と して確認することができ、成功率も その場で簡単に算出できるような ものを取り入れ、蘇生の質の向上に つとめていこうとしています。

● 全職員対象の講演会やセミナー の開催

今年度だと「働き方改革」に関することなど、ニュースで話題となったことや個人情報の取扱の事例など、その時々のニーズに合わせ外部講師の折衝、会場準備、資料作成・配布、研修後のアンケートの回収と評価などを取りまとめています。

● 職務区分ごとのさまざまな研修

「コーチング勉強会」「接遇研修」 「アンガーマネジメント研修」「研究 倫理講習会」など。また継続学習 のための通信教育援助などの経費 支援。チームステップスやコーチ ングなどから構築されたコミュニ ケーションスキルの周知・徹底を 重視した研修などを開催。

また個人的なスキルアップを目的とした英会話(初級・中級),メンタルヘルス関連の講習会。電子カルテの不要な閲覧行為や,業務上知り得た個人情報の暴露など,懲戒委員会で査問されるような事案なども含まれます。

● 院内活動報告会



組織が大きくなるとお互いの活動の実態が見えにくくなることを懸念し、当初は職員の関心の高いテーマに合わせて年2回開催していましたが、現在は年度末に概ね7部署の代表による活動報告が行われています。発表部署は募集しますが、場合によっては職員教育担当者会から依頼するケースもあるそうです。

コーチングの歴史

準備期間を経て2004年度からは じまったコーチング研修。まずコー チングとはどういうものかを職員に 知ってもらうためのコーチング勉強会 の通年開催と経営者や管理者限定の 院外研修,院内ビジネスコーチの育 成に対する模索がスタートしました。 その後は、院内のコーチング指導者を育成する目的やコーチの質向上のためのさまざまな個別プログラムが次々作られました。これらの取り組みは、翌2005年に開業した全個室の新病棟Kタワーで提供するサービスの在り方について考える風土の醸造に大きく貢献しました。

それまでは、ともすると病院側の都合で患者さまやご家族にさまざまな規制を押し付けていました。例えば面会時間、消灯時間、食事選択の制限など。それが個室になることで、相部屋の患者さまに遠慮することなく、療養の妨げにならなければ許可できる範囲が急速に拡大し、サポーターカードを申請すれば患者さまが指名した人(サポーター)は24時間面会が可能になりました。病気の回復のカギを握るサポーターを疲れさせないためソファーベッドで休んでいただき、シャワーも使え、食事のルームサービスもできるようになりました。

今では当たり前の光景ですが、当時はそれまで正しいと信じてきた入院療養の規律や概念をくつがえす新しい価値観を職員一人一人に理解してもらう必要がありました。

いったんカチカチに固まった価値 観をブレーキングし、これまでのようにルールを病院側から一方的に押し付けるのではなく、「答えは相手が持っている」とし、どうしたいのかの判断を患者さまに委ねる個別性、知る権利を尊重することなど、価値観の多様性を認める対応への土台作りとも言えました。病棟の数が増え、病床数も1,000床となり、職員数も急速に拡大した時期でした。

地域住民対象

① 介護職員初任者研修(旧ホーム ヘルパー2級,訪問介護員2級)

戦後昭和29(1954)年に准看護師学校を設立して以来,この鴨川の地で看護師を養成し続け、現在もグループ内に2つの専門学校と1つの大学を運営しているように、1994年から介護員養成研修を継続して開講してきました。2013年度より介護員初任者研修となり大幅な見直しがされましたが、これから高齢化が進む地方の介護を支えるために現在も開催し続けています。

他の地域では開催してもなかなか応募者が集まらないとか、なかなか重労働で大変な仕事の割に賃金が安いことなどから離職者が後を絶たないと聞きます。その点当地は親の介護が必要になったからといった理由などで受講する人も多く、「加えていずれも当院在宅診療部の医師や訪問看護師をはじめとして医療・介護の第一線で活躍していることなどが大きな特長」と池谷センター長。

1994年よりホームヘルパー2 級養成講座を開講。現在までに 36回開催し,修了者は計1,123 名。2013年からは介護職員初 任者研修を開講,現在まで7回 開催し,162名が修了。2級養成 講座と介護職員初任者研修の 修了者数は,トータルで1,285名

となっています。

少子高齢化を見据えて、介護 人材確保のための政策が進め られ、介護職員処遇改善がされ る政策が打ち出されています。 「四半世紀にわたってこの地域 の医療・介護の人材育成に関 わってきた事業だけに、今後も

継続してお手 伝いが出来れ ば」と、担当の 中野真由美係 長は語ってく れました。



② 喀痰吸引等研修 (第一号,第二号)

2014年より年1回開講。第一号修了者80名,第二号修了者17名。トータル修了者97名。

③ 高校生向け研修

2015年より千葉県立長狭高校医療・福祉コースの支援業務として介護職員初任者研修に講師を派遣。現在5期生(現在2年生)15名が受講中。4期生までの修了者は49名。

④ 福祉用具専門相談員養成講習 会

2016年より年1回,福祉用具 専門相談員養成講習会を開催, 修了者66名。

⑤ 喀痰吸引等研修指導者養成講 習会

2018年より年1回,看護師を 対象に喀痰吸引等研修指導者 養成講習会を開催。これまで に25名が修了。

各研修ともに、多忙な医師に講義をしていただく機会を設けているので、日々の診療に支障が出ないように、日時の調整をし、受講者にとってわかりやすい講義をしていただくためにも、講師から要望された研修教材については、なるべく希望に添うような手配調整を心がけているとのこと。

また,外国籍の受講者も近年増加しているため,受講者側の文化などを理解しながら,日本語での講義を受講し知識や技術を身に付けてもらい,修了試験を受けられるように支援していると池谷センター長。



ラ現場で 起きている問題

研修に参加した職員に使命(ミッ ション)をたずねたら、知らないと答 えるケースが増えているとある外部 講師に指摘されたと池谷センター長。 「亀田メディカルセンター*」はどうい う医療機関を目指しているのか、それ すら中で働く職員が知らないという 現実。組織が大きくなり、部署内の教 育のあらゆる段階で手を抜き始める と, 自分たちがどこを目指して飛んで いるのか. たちまちわからなくなりま す。高度は十分か? 飛行ルートは間 違っていないか? 燃料の残量は大丈 夫か? 私たちの組織の視界は良好な のか? いろいろ不安になってきます。 今こそ原点に立ち返り、自分たちの組 織の使命や価値など、大切にしなけ ればならないことを再確認すべき時 なのではないでしょうか。

※亀田メディカルセンター

亀田総合病院を中心とする医療サービス 施設の総称

メンタルヘルスケア

それともうひとつ今深刻な問題が、 メンタルヘルスケアです。しかもこの 問題に対する部署間の温度差が大き いことが問題の深刻度を増している と池谷センター長。

身体の健康は本人も周りの人も気づきやすいけれども、心の健康はなかなか難しい面があります。家族でも親戚でもないのにどこまで踏み込んで良いのか、良かれと思ってかけたひと言がさらに崖っぷちに追い込むことにならないかとか、周囲もつい及

び腰になってしまうのは否めません。 治療に時間がかかり医療人として第 一線に復帰できるかどうかもわから ず、本人やご家族の生活も大きく変わ ることになります。

全ての働く人が健やかに, いきいきと働けるような職場環境とその仕組みを作り, 実践することが急がれます。この「全ての働く人を対象」としていることが大切なポイントです。そのため定期的に職員のストレスをチェックすることで, 心身の状態に早く気づくことが大事になります。

職員厚生課の職場紹介でも触れましたが,職員の健康管理の一環としてメンタルヘルス対策は年々重要性を増しています。心の健康については本人の自覚がないこともあり,周囲の人々や産業医のアドバイスなどを得て進めてゆかなければなりません。

前述の池谷センター長の「部署間の温度差が大きい」という懸念は、特に職場の監督者が行うラインケアへの正しい理解がカギになるということで、対応が急がれます。

こうした社会背景から,継続学習 センターの年間計画にも,職員,管理 職,産業保健スタッフといった対象者 別のさまざまなメンタルヘルス対策 が盛り込まれています。

中でもとりわけ**ラインケア**は,職場のライン上にいる直属の上司,室長・課長・部長といった管理者が,部下のいつもと違う様子にいち早く気づき,相談対応,職場環境改善などを専任部署と連携して進めるきっかけとなります。スタッフの将来にも多大な影響を与えることになりますから,管理者の資質が大きく問われます。

セルフケア

自分自身でストレスに気づき,対処する。

ラインケア

職場の管理監督者が行う職場環境等の改善やスタッフの相談対応。

院内専門スタッフによるケア

産業医や衛生管理者,心療内科等の医師,臨床心理士,人事労務管理スタッフ等が対応。

院外専門家によるケア

当院は医療機関のため専門職が揃っていますが、一般的な企業では、都道府県メンタルヘルス対策支援センターや地域産業保健センターなどメンタルヘルアスケアの支援を行う専門職と連携して対応。

職場復帰に向けたプログラム

復職に向けた体制や規程の整備をは じめ,個人情報保護への配慮やすべ ての関係者間の協力・連携が必須と なります。

なぜ継続学習は 必要か

家族ががんなどの重い病気になった時,あなたはどのような行動を起こしますか? たぶんインターネット上で公開されている医療機関や,国立がん研究センターや公益財団法人がん研究会など国内有数の専門医療施設の公開情報サービスにアクセスすることでしょう。

このように誰でも必要な情報を世界中から、いつでもワンクリックで入手できる時代では、臨床現場の第一線で働く専門職といえども、必要な知識や情報をアップデートし続けることは大変なことです。しかも医学の進歩もめまぐるしく、新薬や新しい治療法がどんどん出て来ますし、新しいウイルスや疾患も突然現れます。

医師や看護師, 薬剤師など医療の専門職は, 一生学習をし続けなければならないことはわかっていても個人の努力には限界があります。しかも得た知識をきちんと現場にフィードバックさせる知恵も持たなければなりません。

これからも千葉県南部の基幹病院 としての重責を果たし、患者さまに最 良の医療を提供し続けるため、亀田の スタッフ教育をつかさどる継続学習セ ンターの役割はますます重要度を増 していくことでしょう。



CLOSE UP NEWS

クローズアップニュース

院内成人式



1月16日(木)午後1時より, Kタワー13階ホライゾンホールで院内成人式が行われ, 1999年4月2日から2000年4月1日生まれの対象者16名のうち, 14名が出席しました。

式には亀田隆明理事長はじめ、丸山祝子看護部

長や多島一嘉人事部長、ジョン・C・ウォーカー顧問が出席し、新成人の門出を祝し、「成人おめでとうございます。人生100年時代と言われている中で、あと80年を楽しく有意義に過ごしていってほしい」「目の前の目標を一生懸命にやって、一日一日を大切にして、大きな花を咲かせていってほしい」といったお祝いの言葉を贈りました。

また出席者からは、「社会人として社会に貢献できるようになりたい」「今まで以上に責任感を持って仕事をこなしていきたいと思う」「健康に気をつけながら、昨年より成長できるように、たくさんのことを学び、自分の活力にしたい」「院内成人式を行っていただき、とても楽しい時間を過ごしました。ありがとうございました」といった声が聞かれました。

防災訓練を実施

2019年12月7日(土)午後2時より, 亀田総合病院E棟2階宿直室を模擬出火場所に想定した秋季防災避難訓練が行われました。

当院では、万一の災害に備え、年2回、消防法に 定められている火災を想定した防災避難訓練を実 施しています。今回の訓練は、夜間帯の火災発生 を想定したため、夜勤勤務者の実人数で実施され ました。

訓練は模擬出火場所や訓練実施時間をあらかじ め公表しない形式で行われ、火災の発見から連絡、 通報、初期消火、応援要請放送、模擬患者への声か けや直上階の透析装置の緊急停止処置、避難、誘 導など火災発生時の対応について一連の流れを確 認しました。

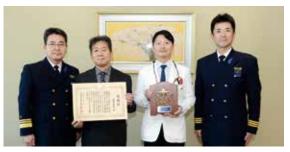
また、避難訓練終了後には、A棟1階ピロティにて消火器と消火栓を用いた初期消火訓練も行われました。参加した職員たちは消火器・消火栓の訓練に積極的に取り組み、万一の事態に備えた秋





の防災避難訓練は、109名の職員が参加し滞りな く終了しました。

洋上救急への貢献を評価 第三管区海上保安本部長より亀田総合病院に感謝状



左から宮崎一巳本部長、不動寺純明救命救急センター長、 亀田俊明副院長、寺門嘉之警備救難部救難課長

2月6日,洋上救急事業^(※)に多大な貢献があったとして,海上保安庁宮崎一巳第三管区海上保安本部長より感謝状をいただきました。

海上保安庁では、毎年1月18日を「118番の日」 と制定し、海上における事件事故の緊急通報番号「118番」の重要性をより一層、多くの方々に理解してもらうため、全国でさまざまな周知活動を 行っています。これにあわせて第三管区海上保安本部では、洋上救急等に功績を残した個人や団体に対して「第三管区海上保安本部長表彰」を行っています。

海に面し、ヘリポートを有する当院では、海上保安庁の要請による航行中の船舶内で発生した傷病者の治療や受け入れに協力しており、今回はそうした長年の活動が評価されての表彰となりました。

感謝状の授与式には、病院を代表して亀田俊明 副院長と不動寺純明救命救急センター長が出席 し、宮﨑第三管区海上保安本部長より感謝状と記 念の盾が贈られました。

(※) 洋上救急事業とは、洋上を航行する船舶内で傷病者等が発生した場合に、海上保安庁の巡視船艇・航空機により、医師・看護現場に派遣し、傷病者等を収容して応急治療を施しつつ、最寄りの医療機関まで救急搬送を行う事業。

福武敏夫脳神経内科部長による 週刊医学界新聞『漢字から見る神経学』連載終了

脳神経内科部長の福武敏夫医師 による『漢字から見る神経学』(医学

書院の週刊医学界新聞)の1年半に及んだ連載が2019年12月に第18回をもって終了しました。内容をご覧になりたい方は、「週刊医学界新聞 福武漢字」で検索してください。



情さん、ご存じでしょうか? 今までになかったのがとても不思議に思える「日本漢字学会」(会長-京人名登録後・明正常次氏) が2018年4月に設さされました。私は新聞で知り、早遠正会員になりました。好きでも嫌いでも日本は漢字の同であり、平仮名も貴収名も漢字をもとに作られ、漢字から進れられません。それどころが漢字とうまく付き合っていかねばなりません。

連載は「脳」や「神経」の成り立ちの話から始まり、「大小便と便利」に使われている「便」が共に「心地/気持ちよい」という意味を持つという解説に終わっています。発表内容を分類すると、神経学と直接関連のない一般論が1回(図)、神経系の漢字への新解釈をしたものが6回、漢字の使い分けに関するものが4回、神経学用語での漢字使用の不十分さの指摘が7回だったとのことです。福武

医師はこれらをまとめて12月の第二回日本漢字 学会で発表しました。

この連載は脳神経内科医だけでなく多くの医療 関係者にも興味をもって読まれ、そのためか、福 武医師は本年(2020年)5月の神経学会における医 学史に関するシンポジウムでの「漢字から見た神 経学用語の歴史」の発表と10月の神経心理学会で の「ふしぎ発見 文字の世界 なるほど」という教育 講演を依頼され、本業よりも忙しくなりそうとの ことです。

また先頃、福武医師の著書『神経症状の診かた・考えかた― General Neurology のすすめ』(第2版, 医学書院, 2017)の韓国語版が出版されました。同著は、ガイドラインに基づいた標準的診療方法を記載した書籍とは



一線を画し、福武医師の臨床経験に基づく歯切れのよい記載と、一貫した神経症状へのアプローチから綴られた「通読できる本格的な神経内科書」として、神経内科学の「1冊目の本」として広く支持されている一冊です。

【関連法人ニュース】



■学校法人鉄蕉館

亀田医療技術専門学校 2020年4月より「介護福祉学科」を開設

少子高齢化が進み,介護サービスの利用者が急増している一方で,担い手となる人材の数は伸び悩み,介護現場では人手不足が深刻さを増しています。

そうした現状を受け、学校法人鉄蕉館「亀田医療技術専門学校」(亀田省吾校長)では、介護領域におけるリーダーとなる人材の育成をめざし、既存の看護学科・助産学科に加えて、今春2年課程の「介護福祉学科」(定員40名)を開設いたします。(※開設許可申請中)

同学科は、「グローバルな視点を持ち、高い倫

理観と知識に裏付けられた温かなケアを実践する介護福祉士の育成」をミッションに掲げ、社会人や海外からの留学生の受け入れも積極的に行っていく計画です。また実習先として、亀田グループの社会福祉施設・医療施設が一体となり、介護力の高い介護福祉士の育成をめざすほか、社会福祉法人太陽会のベテラン職員が教員として参画。豊富な臨床経験や知識を活かしながら、介

護福祉士の資格取得をめざす生徒に, 単に教科書の内容を教えるだけでない豊かな教育を実践し

ていく予定です。

ベトナムから留学生6名 介護福祉士の資格取得をめざす

亀田医療技術専門学校が開設する「介護福祉学科」の1期生には、ベトナム・ドンア大学看護学部に在学する6名の留学生が入学予定です。

亀田グループでは、今後、圧倒的な介護人材の不足が予想されるなか、2年前から介護福祉士養成プロジェクトを立ち上げ準備を進めてきました。

その一環として、2018年9月にはベトナムの 中部最大の産業都市ダナン市にあるドンア大学(※) と、学校法人鉄蕉館、社会福祉法人太陽会が「介 護人材育成等に関する基本協定書」を締結。これ により、ドンア大学看護学部に1学年40名定員 の「亀田特設コース」が設置されました。 同コー スは日本で働くために、日本の介護福祉士の資 格取得を希望する学生のために特設されたもの で、学生はドンア大学看護学部に3年次の途中 まで在学し、在学生の身分を保持したまま亀田 医療技術専門学校へ留学。ベトナムでの在学期 間に, 亀田医療技術専門学校の日本語学科(1年), 介護福祉学科(2年)を合わせた、5年半をかけて 両校を卒業。ベトナムの「看護師」資格と日本の 「介護福祉士」資格のダブルライセンス取得をめ ざします。学生たちは留学期間中, 太陽会が有 する介護・福祉施設で在留資格外活動としてア



ルバイトを行いますが、その一部は臨時実習と して単位認定されるなど、就業しながらより実 践的な学びを深めることができる仕組みも用意 されています。

介護福祉学科に入学予定の6名に加えて,4月にはドンア大学看護学部から新たに20名の留学生が日本の介護福祉士の資格取得をめざし,日本語学科に入学予定です。

そのほか、社会福祉法人太陽会では中国やベトナムからの技能実習生の受け入れや、千葉県の策定した千葉県留学生受け入れプログラムを利用したベトナム人留学生の受け入れも合わせて行っていく計画です。

(※) 2002年にベトナム・ダナン市に創立された学生数 8,000人を誇る私立大学。

■社会福祉法人太陽会

認定こども園OURS,企業主導型保育所OURS baby(あわーずベビー)

2019年幼児課発表会を開催

社会福祉法人太陽会が運営する「認定こども 園 OURS(あわーず)」ならびに「企業主導型保育 所 OURS baby(あわーずベビー)」 合同の幼児課発 表会が、1月25日(土)開催されました。鴨川市 市民会館が昨年3月末で休館となったことを受け て, 今年は舞台を隣町の勝浦市芸術文化交流セン ター・キュステに移しての開催となりましたが, 800席を超す座席が園児の保護者などで埋め尽く され、大賑わいの発表会となりました。

幼児課発表会では、2・3・4・5歳児が日頃「楽習」 してきた成果を保護者らに見せようと、歌や踊り、 演奏で表現。会場からは演目の度に惜しみのない 拍手が贈られました。特に5歳児による体育ロー



テーションの演目では、 マット運動や鉄棒, 箱など園児たちの高いパフォーマンスに会場から どよめきが上がるなど、保護者らを驚かせました。

発表会前にはインフルエンザが猛威を振るい. 十分に練習を重ねられない状況もありましたが. 園児たちは伸び伸びと参加できなかった仲間の分 まで雄姿を見せました。



明るいということにびっくりしました。 見た目は健康そうな方たちだとの印象 が記憶に残っています。 じめ皆さんが温かく迎えてくれたこと 初めて部屋に入った時、会長さんをは 皆さんがすごく

体験談等も話して下さいました。現在 私の話を真剣に聞いてくれて、自分の



志村雅 司

のは、 で、そのまま開催場所に行きました。当 にし、ちょうどその日が活動日だったの ロビーでアロヒカイのパンフレットを目 し再発の不安が生じた時です。 K タワー 私がアロヒカイ(※に初めて参加した 手術後の検査結果で数値が上昇

と言っていいかわからない精神の状況で 時私は再発の恐怖と不安を抱いて、 何 ます。 今年で術後5年を経過しようとしてい

います。 早期発見・早期治療を考えてほしいと思 皆さんも健康診断等の大切さを考え、

(※)アロヒカイ:すべての 生活などの不安や悩み 知され、手術や今後の 分の気持ちを話す場と を持つ方々が集まり、 家族を対象に、がんと告 がん患者さまやそのご して 2009 年に発足。

バイスをしています。 真摯に聞きアドバイスできることはアド えども同じ病気の経験者としてお話を 最後の私の検査結果は正常値に戻り、 新しい方が来たときには、 部位は違

しています。 るんだと言うことを感じました。 返ってきて、自分だけじゃないんだ、み ショックで泣き明かしました等の答えが 思いましたか?」と伺いました。すると、 いますが、決して暗くなく明るく会話を ければ言えないことを伺いました。 普段の生活でのこと等、 も食事療法や薬物療法を行っている方、 んなショックから立ち直って頑張ってい 普段は体調の相談、世間話等をして 私は、「病気を告知されたとき、どう 病気体験者でな

ボランティア

活動報告

医療の

今号は:

ACP:アドバンス・ケア・プランニング)

繰り返し話し合い、共有する取り組み「人生会議」を普及・啓発する 昨年末、一枚のポスターが議論を呼びました。もしものときのために えばよいのでしょうか? ための PR ポスターでした。人生会議は、いつ、どんなことを話し合 自分が望む医療やケアについて、前もって考え、家族や医療者などと



疼痛・緩和ケア科部長 龍 医師

Q.どんなことを話し合えばいいの?

Q.人生会議とはっ

人生会議は「アドバンス・ケア・プランニング」 未曾有の超高齢・多死社会であるわが国では 者の間で事前に話し合うプロセスを指します。 のか等)に関して、家族(代理人)、医療者の3 のか(延命治療を受けたいのか、受けたくない 場合に備えて、将来どのような医療を受けたい の愛称です。自分の余命が少なく終末期となり これから医療現場や患者さまが住む地域の中で 意思表示ができず判断能力もなくなったような 人生会議を日常的に実践していく必要があり Α ・例えば、進行性の重篤な病気で余命が限られてきた どのような治療を受けたいのか、具体的な治療方針 や療養方針を患者さまやご家族、医療者とで話し合 状況では、今後に備えてどこでどのように過ごし、

能性が高まり、結果とし 活の質)の向上が期待され て人生最晩年のクオリ ティー・オブ・ライフ(生 た終末期医療の実現の可 本人の意向に沿っ 人生会議の実践に

ます。繰り返し、話し合うことが大切です。 病院統一の事前指示書の書式を活用してください。 情報はとても大切なので、関係者との話し合いには おきましょう。終末期に希望する治療方針や代理人 を決めてほしいか、家族と話し合い、主治医に伝えて 力がなくなった場合に、自分の代わりに誰に治療方針 望するのか、などです。また意思疎通ができず判断能 望しない場合でも痛みや苦しみを和らげるケアは希 らどの程度の治療まで受けたいのか、延命治療は希 命装置による治療を希望するのか、希望するとした ましい治療について話し合うのがよいでしょう。 療方針というよりも自分がイメージする終末期の望 う必要がでてきます。 病状や状況の変化など、その時々で考え方は変わり 一方、病状が差し迫っていない状況では、 延

Q.いつ話し合えばいいの?

A.一般的には、根治の難しい慢性病(心臓や呼吸器の病

気、糖尿病やがんなど)をもっている方や、 もしもの時に自分が何を大切に思うか、考える機会 いえ、自分の人生の終末期を想像して今から話し合 で見えてくるようになってきますから、その時点で どんな治療を受けたいのかイメージがつかない方は、 の方は、人生会議の機会をつくっておく利益が大き 弱り身の回りのことを自身で行うことが難しい高齢 死ぬこととはという価値観にかかわる話し合い)も をもつことで自分の死生観が見えてきます。具体的 せん。そんな時は、、もしバナゲーム®、などを通じて、 いましょうと言っても、少し無理があるかもしれま 植物状態になる可能性はゼロではありません。とは 若く病気と無縁の方も、不慮の事故等で瀕死状態や 本格的な人生会議を開始すればよいと思います。 家族や医療者との何気ないやりとりの積み重ねの中 いと思います。自分の余命が短くなった時、どこで 人生会議に含まれます。 な治療についてではなくその準備(生きることとは、



『誰の味方でもありません』

古市憲寿:著

新潮新書/800円〔稅別〕

るように、社会のさまざまな たい。『誰の味方でもありま るところが、実に社会学者ら く独自の視点で切り取ってい 事象を誰におもねることな の味方でもありません』とあ 読みやすい。タイトルに『誰 章にも癖がないので非常に 綴られている。一編が短く、文 彼が日頃感じていることが まとめたもので、つらつらと で連載された原稿を新書に 2018年12月に週刊新潮 せん』は、2017年5月~ れる一冊を今回はご紹介し そんな彼の物の見方に触

本書はこんな一文からは

ち』で注目され、最近はテレ みる彼のものの見方を、私は る。しかし、当たり前を疑って 言で度々ネット炎上を引き 書『絶望の国の幸福な若者た 素直におもしろいと思う。 起こしていることでも知られ ズケズケ聞き、忌憚のない発 い顔をして聞きづらいことを 市憲寿氏。相手かまわず涼し ても活躍する社会学者の古 ビのコメンテーターなどとし 若者の生態を描出した著 から次へと攻撃対象を変え はない。『正義』の人々は、次 じまる。「この頃の日本は、 だ。(中略)だけど本当にこれ て、『正論』を唱え続けるだけ の社会を良くしているのなら れている」。古市氏は続ける。 く毎日のように誰かが怒ら 切動画』の流出など、とにか 性や外国人への差別、『不適 行為、セクハラやパワハラ、女 だか怒りっぽい。不倫や不貞 いい。だが、どうやらその気配 ⁻こういった炎上が、本当にこ

が、実はいい社会をつくって られる人を増やすことこそ いく…それくらい鷹揚でい な内容から砕けたものまで 線で綴られた同著は、真面目 読者に問いかける。そんな目 があっても少しずつ修正して でもタブーなく言え、間違い を見るくらいが丁度いい。何 など求めず、一歩引いて社会 だったら、絶対的な「正しさ」 緩急織り交ぜ、今の社会を映 いくコツなのではないか、と 化に応じて移ろうものだ。 し出していく。 価値観は時代や環境の変

> う理論だ。実際、古市氏はこ 究者マインドをもつことは、 うことだ。「何につけても、研 ばいい」と彼はいう。サンプ 場や学校など、そうもいかな うにしているそうだが、どう とでもフラットに付き合うよ そうな古市式「嫌な人と付き 傷つくことはないはず」とい る」そうで、「要はどんな状況 毎日の生活を楽にしてくれ ルというのは調査対象とい 「『嫌な人』をサンプルと思え はいるもの。そういう人とは 合うコツ」をご紹介したい。 てしまえば、それほど自分が に陥っても、対象を客観視し いこともある。そういう時は、 友関係の広さだ。日頃から誰 書を読んで驚いたのはその交 メージの強い古市氏だが、本 「会わない」のが一番だが、職 しても「嫌な人」「苦手な人」 いつも誰かを怒らせているイ ここで一つ、明日から使え

でいいのだろうか?」と。

(蝸牛庵)

術を試してみてほしい。

すぎる人は、ぜひ古市式対人方で真剣に悩んでいる優し

のやり方で乗り切っている

らしい。嫌な人との付き合い

世界ののぞき窓

第 26 回

ネズミの棲む家

いな」と思った。ぽは長いピンク色で、とっさに「かわいわふわの茶色の毛におおわれた体、しっき物と目があった。黒目がちな目に、ふうと自宅の扉を開けたところ、小さな生

昨年のとある朝、

いつも通り出勤しよ

私は以前にもこの生き物に出会ったことがある。友人たちと朝まで騒ぐことがというが、ファーストフード店の前のゴロだった。サイズはもう少し大きかったと思うが、ファーストフード店の前のごとだ。確とがある。友人たちと朝まで騒ぐことがというだけでは、

かっていったのである。を昇って行った。下りではなく、上に向慌てるでもなく、悠々と集合住宅の階段をあげた。その声を聞いたネズミは特に思い出した私は「ひゃあ」と間の抜けた声思い出した私は「ひゃあ」と間の抜けた声

いなかった。すみやかにその場から敗走を追いかける勇気も兵力も持ち合わせてる。それでもなお追撃をやめてはならなが逃げ切ったと思って安心する瞬間があり広げている室長の兵法は、「敵(※猫)り広げている室長の兵法は、「敵(※猫)

げ口」という戦法である。し、大家さんに今見たものを説明した。「告

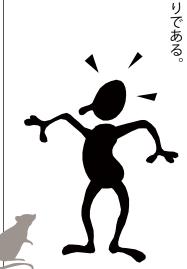
たい。 読み、 ところ、瞬時に爆発的なミントの香りが はいまだにちょっとミントの香りがして 用の際は使用方法や使用上の注意をよく かと思うほどの刺激をうけたので、ご利 顔面を直撃し、催涙弾を打ち込まれたの 注意書きを無視してちょっと使ってみた ないこと」という赤い太文字で書かれた の香りがするので「絶対に室内で使用し ミよけスプレー缶からはほのかにミント は残されていなかった。余談だが、ネズ ムセンターで購入するくらいしか打つ手 してみたり、ネズミよけスプレーをホー けない」という謎の装置を購入して設置 で「超音波でネズミを混乱させて寄せ付 うやむやになった。とりあえずアマゾン で信じてもらえず、結局この話はこれで んよ。何かと見違えたのでは?」とまる していますけど、ネズミの巣はありませ 懐疑的な眼差しだった。「定期的に調査も 「本当にいたんですか?」と大家さんは くれぐれも正しくご利用いただき あれからしばらく経つが、 我が家

とぼんやり思った。

謎の装置を設置してから連日装置付近

というのはだいぶ違って伝わるのだなあるしたものの、投資の甲斐あってか、それによって、話の信ぴょう性な神士が「家の中にネズミが出たので退な神士が「家の中にネズミが出たので退な神士が「家の中にネズミが出たので退か?」と明らかに私とは対応が違い、発見ましたか?」「どれほどのサイズでしたか?」と明らかに私とは対応が違い、そことはないうのはだいぶ違って伝わるのだなあいた」と言を上げてから一気にはしている人によって、話の信ぴょう性というのはだいぶ違って伝わるのだなあり、それに関している人によって伝わるのだなあり、それに関している人によって伝わるのだなあり、それに関している人によって伝わるのだなあり、というのはだいぶ違って伝わるのだなあり、というの後二度というのはだいが違いである。

はでいる。 して台風が鴨川市を して台風が鴨川市を してものが、今となっては確か はの船から逃げるというが、果たしてそ はの船から逃げるというが、果たしてそ はの船から逃げるというが、果たしてそ はで二度と現れないよう、切に願うばか は沈みか



兔网络分病危极

No.254

亀田ホームページ http://www.kameda.com

2020年3月1日発行(隔月発行) 発行責任者: 亀田隆明 編集責任者: 松元和子発行: 医療法人鉄蕉会 〒296-8602 千葉県鴨川市東町929 編集: 広報企画室

当広報誌は個人情報保護のもと本人の了承を得て作成しており,本用途以外の転用は固くお断りしております。 All articles on this PR magazine has been printed under the permission of the subscriber to protect their personal information. All editorial content and graphics may not be copied without the permission of Kameda Medical Center, Public Relations which reserves all rights.